

# 会 告

## 日本設計工学会・東京都立産業技術研究センター共催 日本設計工学会2006年度第2回講習会(学会40周年記念出版講習会) 「中小企業向け3次元CAD/CAE/CAM導入・活用のための講習・相談会」

開催期日：平成19年 2月22日(木)

共催：(社)日本設計工学会、(地独)東京都立産業技術研究センター 企画：事業部

協賛：TAMA産業活性化協会/(社)首都圏産業活性化協会/(社)日本機械学会/(社)精密工学会/東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会(TOABC)/東京設計管理研究会/日本機械設計工業会/(社)日本コンピュータソフトウェア協会/大田区産業振興協会(交渉中)/品川区産業振興課(交渉中)

今日の我が国の製造業は、「コスト削減」、「納期の短縮」が強く求められています。高い品質を維持しながら、これらを実現していくための施策として、3次元CADで作成された3D形状データをモノづくりに有効に活用していくコンカレントエンジニアリングの実践が注目されています。しかしながら、その中核をなす3D形状データの作成段階、解析や加工に利用する段階において多くの労力を費やす場合が生じています。これらの効率化には、3次元CADをいかに有効に活用するかが重要な鍵となります。

このような状況を踏まえて、中小企業を対象に3次元CAD導入・活用のための講習・相談会を開催することになりました。特に今回は3次元CAD/CAE/CAMに焦点を合わせた技術相談会を開催いたします。企業や研究所、学校関係者等で企画・設計・開発に関心がある方々の多数のご参加をお待ちしております。

尚、講習会ではテキストとして(地独)都立産技研センターの御支援により、日本設計工学会編「3次元CADの実践活用法」(コロナ社¥3,600)を1冊進呈いたします。

日 時：平成19年2月22日(木)、13時00分～17時45分(懇親会：18:00～19:00)

会 場：(地独)東京都立産業技術研究センター(西が丘本部)

(〒115-8586 東京都北区西が丘3-13-10 TEL:03-3909-2376, FAX:03-3909-2591)

\*JR赤羽駅西口から「王子駅行き」バスで西が丘1丁目下車 徒歩3分、またはJR赤羽駅西口から「赤羽車庫行き」バスで国立西が丘競技場下車 徒歩1分、またはJR十条駅から「赤羽駅西口行き」バスで西が丘競技場前下車

徒歩1分、または都営三田線板橋本町駅若しくは本連沼駅下車 徒歩12分、<http://www.iri-tokyo.jp/map/index.html>

司 会：大高 敏男(東京都立産業技術高等専門学校)

時間	題目	内容	講師
13:00～13:10	開会挨拶	(地独) 東京都立産業技術研究センター 理事長 井上 滉	
13:00～13:20	産技研コーディネータ事業紹介	東京都立産業技術研究所センターのコーディネータ事業の概要等について紹介します。	東京都産学公連携コーディネーター 佐藤 康生
13:30～14:20	【基調講演】 3次元CADを用いたコンカレントエンジニアリング	現在、3次元CADモデルデータを中核としたコンカレントエンジニアリングが大企業で促進されていますが、これらは情報システムである観点から今後中小企業等周辺企業まで巻き込んだコラボレーションに進展することは明らかです。ここでは3次元CADの生産部門やデザイン部門への有効な活用事例、情報システムとしての導入・運用の留意点、さらには今後のシステム化への展開予測に関して概要を解説します。	日本設計工学会事業部会長 東京都立産業技術高等専門学校 朝比奈 奎一
研究シーズ紹介(研究者による連携可能な研究シーズの紹介 40分/1テーマ×4テーマ)			
14:30～15:10	CAEの活用と解析の実際	3D-CADやCAEのGUIが格段に良くなり、中小企業での活用がクローズアップされています。しかし、CAEは、FEM解析を基本とした数学的な手法であり、製品開発の道具として正しく活用するためには、工学知識が要求されます。ここではCAEの活用事例を中心に、その実際について解説します。	(地独)東京都立産業技術研究センター 大久保 富彦
15:10～15:50	ソリッドモデリングカーネルを利用した5軸制御加工用CAMの開発	現在、5軸制御工作機械が積極的に導入されつつありますが、そのためには適切な加工データを出力できるCAMが不可欠です。ここでは5軸制御加工用CAMの動向について述べた後、これまで研究を進めてきた最適な5軸制御加工経路の概要と、その生成手法について解説します。	電気通信大学 知能機械工学科 森重 功一
15:50～16:30	3次元CADを強力な設計支援ツールとするためのカスタマイズ技法	広範な生産活動の中で上流過程に位置付けられる設計の支援ツールである3次元CADシステムを、可能な限り有効に活用するためには、ユーザー側の工場環境や製品の特性に対処して、システムのカスタマイズ化が必要になろう。このカスタマイズ化の方法について解説する。	テクファ・ジャパン(株) 香取 英男
16:30～17:00	3D-CADとRPを活用したものづくり	3D-CADで設計した製品は画面上の図形でしかありません。開発のスピードアップには、できるだけ早い段階で形にして確認することが重要です。3D-CADからRPへの展開を事例で紹介いたします。	(地独)東京都立産業技術研究センター 久慈 俊夫
17:10～18:10	技術相談会 上記テーマごとに分かれて、個別に相談会を行います。 (テーマごとに4社限定、申込時に予約してください)	東京都立産業技術研究センター見学会(相談会に参加しない希望者)デザインセンター(グラフィックデザインシステム、モデリングシステム、CAD/CAE、高速造形機、樹脂流動解析)、振動試験機、無響室など中小企業等が製品の開発・評価に必要な支援機器を見学します。	
18:20～19:30	懇親会(有料1,000円) 第4会議室 中小企業の技術者、大学や研究機関の研究者とじっくりと懇親できます。		

定 員：40名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費：無料 懇親会参加費：¥1,000(学生は無料)当日会場にて徴収いたします。

申込締切：平成19年2月2日(金)

申込方法：氏名、所属、連絡先、講習会名、懇親会出席有無を記入の上、FAXまたはE-Mailにて設計工学会事務局宛にお申し込みください。

問い合わせ先：〒140-0011 品川区東大井1-10-40 東京都立産業技術高等専門学校 大高 敏男

電話03-3471-6331/FAX03-3471-6338 E-Mail: otaka@tokyo-tmct.ac.jp

詳細は学会または産技研センターのホームページをご覧ください。

<http://www.jsde.or.jp/>, <http://www.iri-tokyo.jp/index.html>

申込先：日本設計工学会

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-22-17セラミックビル内、電話03-5348-6301, Fax03-5348-6280,

E-Mail: jimukyoku@jsde.or.jp, URL:<http://www.jsde.or.jp/>